第200回 長崎大学FD実施報告書（令和2年1月10日提出）

１．題　　目　：　授業の動画コンテンツ化推進プロジェクト報告2

２．日　　時　：　令和元年12月24日（火）　13:30-

３．場　　所　：　第5会議室（文教キャンパス 教育学部2階）

４．主　　催　：　教務委員会
　企画・実施：　評価・FD教育改善専門部会

５．対　　象　：　全教職員

６．長崎大学FDに関する申合せ第2第1項の該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）：
　［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
　［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
　［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
　［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
　［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のFDの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）：
　自身の授業教材を動画コンテンツ化することや動画を授業実践に活用することの計画を立てられる。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）：
　講　　師：　田口 由香　准教授（教育学部 国際文化講座）
　　矢澤 孝哲　教授　（工学研究科 システム科学部門）
　　奥田 阿子　助教　（言語教育研究センター）
　　若菜 啓孝　教授　（大学教育イノベーションセンター）
　内　　容：　動画コンテンツを導入した授業の事例報告及びサマーワークショップで行った「ICT 活用による授業改善」（短縮版）による多様な授業教材の作成方法を学び，今後の教材制作に活かす。

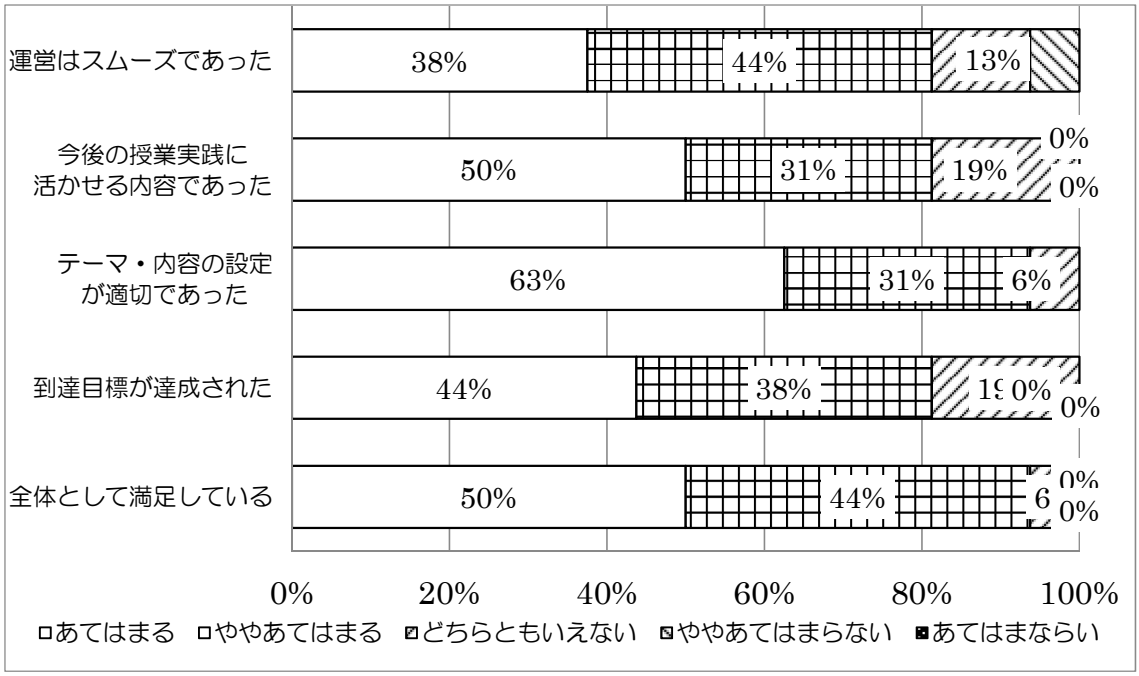
９．参　加　者：　23　名（受講証明書発行対象者：　23　名）

（内訳）

所　属	人　数
多文化社会学部	1
教育学部	2
経済学部	1
医学部（医）	1
環境科学部	1
医歯薬学総合研究科	2
工学研究科	2
水産・環境科学総合研究科	1
ICT 基盤センター	2
言語教育研究センター	1
海洋未来イノベーション機構	1
先導生命科学研究支援センター	2
熱帯医学研究所	1
病院	1
情報系新学部創設準備室	2
学生支援部 教育支援課	2
計	23

１０．実施した FD の成果等：

（1）参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



●今回のプログラムについて，お気づき・ご意見・ご感想。

・同じ動画コンテンツを利用した授業でも，授業設計によって，動画の使い方が異なることが分かり，大変参考になりました。私自身が反転授業を行うにあたり，動画をはじめとする教材のアップデートに時間を取られる傾向があり，どのように適正化を図るかが課題なのですが，今回の FD を参考に考えたいと思います。

・自分が学生の頃は、何らかのテキストを購入して受講するのが通常でしたが、動画コンテンツをうまく利用した講義が増える事により、そのようなテキストを購入する必要もなくなるものと思われました。物事を理解するためには系統だった勉強が必要と考えます。工夫次第で、動画コンテンツを、その系統だった勉強に組み込める可能性を感じる事が出来ました。ただ、視聴日や視聴時間さえも知られてしまい、それが単位にもつながってしまう、今日の学生は窮屈そうで少し気の毒な気もしました。

・授業がない時期の開催で良かった。協力してくれた先生方に感謝したい。具体的に授業でどう取り入れているかという視点から紹介しているので長所短所がわかった。ただ、一つの事例が 15 分と言うのは短いのでは？

・動画コンテンツを作ること自体が難しいと思っている年配の先生が多いので，簡単にできるようになったことを，何度も発信していただければと思います.

・作成したコンテンツをもっと見たかったです。

・終了時間は厳守願いたい。

・最後の英語教育についての報告が大変わかりやすかった。

・この度は授業に動画コンテンツを取り入れるご支援をくださり、本当にありがとうございました。ご報告された先生方の事例を参考にさせていただき、動画を活用したより良い授業を行えるよう努力したいと思います。今後ともご教示お願い致します。

●長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容について，ご意見・ご要望。

・動画コンテンツ利用の内容で、定期的に話が聞けると良いと思いました。

・アクティブラーニングのいろいろな手法。それぞれを詳しく、実践的に。

・教授，准教授に昇進した時，採用されたとき，マネージメントに関する FD を義務付けるべきだと思います．特に教授には，組織運営が必須にもかかわらず，マネージメントに関する知識が不足しているように思います。

・今回のテーマをもっと掘り下げて欲しいです。

・実用的なプログラミング実践講座、教養を深める講座（哲学など）があれば参加したい。

・仕事の効率化に役立つもの、ワークライフバランスについて。

・動画作成の具体的な方法についてご説明いただけると大変助かります。

(2) 総　　括

本 FD は，本学における授業の動画コンテンツ化推進のために，実際の授業の事例報告であり、本年度夏に行われた FD の第２弾として開催された。教育学部、工学研究科、言語教育センターと様々な分野での事例報告であった。また、講義形式も講義・演習の事例、動画に関してもビデオ撮影（学外実写、ホワイトボードなど)、ＰＣソフトウェアの活用など、様々なコンテンツがあり、参加された先生らも自分の授業への適用性など考えやすかったと思われる。現在、プレゼンソフトの質の向上、手軽に動画撮影可能な機器の存在など、動画コンテンツ作成は、専門家でなくとも可能となった。これらを有効活用し、効果的・効率的な授業が実施できるようになる契機となればいいと思われる。今後も続編となる FD が２回ほど企画されているが、今回、事例報告の時間が短いのではないかという意見もあり、時間配分など再考する必要がある。さらには、実体験・実習できる企画を行う必要もある。

１１．実施代表者の連絡先：

大学教育イノベーションセンター
教授　若菜 啓孝
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2907

１２．申請者の連絡先：

同上